



平成 31 年 3 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 帝 国 電 機 製 作 所  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 白 石 邦 記  
(コード番号6333 東証第一部)  
問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 企 画 本 部 長 村 田 潔  
(TEL : 0791-75-4160)

(訂正・数値データ訂正) 「平成 31 年 3 月期 第 1 四半期決算短信  
〔日本基準〕 (連結) 」の一部訂正について

当社は、平成 30 年 8 月 10 日に開示いたしました「平成 31 年 3 月期 第 1 四半期決算  
短信〔日本基準〕 (連結) 」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。ま  
た、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送付いたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告  
書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますの  
でご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正の箇所には\_\_下線を付して表示しております。

なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、上記の訂正事項については、訂正後のみ全文を  
記載しております。

以上



# 平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 株式会社 帝国電機製作所  
 コード番号 6333 URL <http://www.teikokudenki.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 宮地 國雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部長 (氏名) 村田 潔

TEL 0791-75-4160

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	5,086	14.8	604	65.7	688	73.2	426	126.7
30年3月期第1四半期	4,428	△3.5	364	22.2	397	330.6	188	—

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 91百万円 ( 34.2%) 30年3月期第1四半期 138百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	21.60	
30年3月期第1四半期	9.24	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	32,832	24,670	74.9	1,244.81
30年3月期	33,006	24,816	74.9	1,252.18

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 24,590百万円 30年3月期 24,736百万円

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、平成30年3月期については、遡及適用後の数値を記載しています。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		8.00		12.00	20.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		12.00		12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,010	1.1	2,180	△5.2	2,270	△3.1	1,560	4.2	78.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	20,400,138 株	30年3月期	20,400,138 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	645,561 株	30年3月期	645,538 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	19,754,583 株	30年3月期1Q	20,358,674 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
3. 補足情報 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では良好な雇用所得環境のもと個人消費の回復が続き、企業収益の改善を背景に設備投資の回復が続く等、景気の回復が続いております。欧州では個人消費が下支えとなって緩やかな回復が続いております。また、中国では、民間企業の設備投資の回復が強まっていること等から景気は堅調に推移しております。しかし、米中貿易摩擦の深刻化による世界経済への影響が懸念されており、先行き不透明感があります。

わが国経済は、改善が続く雇用所得環境に加え、設備投資についても回復傾向であること等から景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、米中貿易摩擦の影響等による景気の下振れリスクが残っております。

このような状況の中で、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、ポンプ事業は国内市場においては、設備更新需要が続いていることから堅調に推移し、海外市場においては主に中国市場での売上が堅調であったことから全体として堅調に推移いたしました。一方、電子部品事業の売上は減少いたしました。

これらの結果、グループ全体として売上高は50億86百万円（前年同期比14.8%増）となりました。

利益面につきましては、売上の増加並びに粗利率が改善した結果、営業利益は6億4百万円（同65.7%増）、経常利益は6億88百万円（同73.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億26百万円（同126.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## (ポンプ事業)

ポンプ事業は、国内市場においては、メンテナンス関連、及びアジア向けの輸出案件（ケミカル機器モータポンプ、半導体機器モータポンプ）等が増加いたしました。中国市場においては、ケミカル機器モータポンプ、メンテナンス関連等が増加いたしました。また、米国市場ではケミカル機器モータポンプが減少したものの、冷凍機・空調機器モータポンプ、メンテナンス関連等が増加いたしました。

その結果、売上高は44億29百万円（前年同期比15.8%増）、連結売上高に占める割合は87.1%となりました。

また、営業利益は、主に売上の増加により5億61百万円（同71.3%増）となりました。

## (電子部品事業)

電子部品事業は、売上高は4億84百万円（前年同期比1.4%減）、連結売上高に占める割合は9.5%となりました。

また、営業利益は、販売費及び一般管理費の増加等により25百万円（同9.4%減）となりました。

## (その他)

その他は、売上高は1億72百万円（前年同期比52.5%増）、連結売上高に占める割合は3.4%となりました。

また、営業利益は、売上の増加及び粗利率の改善等により、17百万円（同97.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は207億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億11百万円増加いたしました。これは主にその他が3億20百万円増加したことによるものであります。固定資産は120億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億85百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が1億5百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、328億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億73百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は64億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ25百万円減少いたしました。固定負債は16億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は、81億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は246億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億46百万円減少いたしました。これは主に為替換算調整勘定が2億45百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は74.9%（前連結会計年度末は74.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成30年5月14日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,713,079	8,461,486
受取手形及び売掛金	7,457,847	7,139,778
製品	1,509,272	1,477,858
仕掛品	1,511,456	1,802,170
原材料及び貯蔵品	1,393,195	1,473,644
その他	395,311	715,783
貸倒引当金	△307,316	△285,978
流動資産合計	20,672,847	20,784,744
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,881,975	4,826,759
その他（純額）	3,991,981	3,941,444
有形固定資産合計	8,873,956	8,768,203
無形固定資産		
のれん	668,199	611,157
その他	350,267	321,087
無形固定資産合計	1,018,466	932,245
投資その他の資産	2,440,975	2,347,097
固定資産合計	12,333,399	12,047,546
資産合計	33,006,246	32,832,291
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,180,304	2,356,341
短期借入金	455,790	452,280
未払法人税等	936,171	748,513
製品保証引当金	20,606	23,739
賞与引当金	454,735	229,227
その他	2,459,247	2,671,037
流動負債合計	6,506,856	6,481,138
固定負債		
長期借入金	114,800	112,000
退職給付に係る負債	1,075,680	1,098,939
その他	492,396	469,775
固定負債合計	1,682,877	1,680,715
負債合計	8,189,733	8,161,853
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,118,118	3,118,118
資本剰余金	3,306,347	3,306,347
利益剰余金	17,841,370	18,031,085
自己株式	△809,696	△809,734
株主資本合計	23,456,140	23,645,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	705,332	610,679
為替換算調整勘定	632,056	386,615
退職給付に係る調整累計額	△57,266	△52,433
その他の包括利益累計額合計	1,280,122	944,861
非支配株主持分	80,250	79,759
純資産合計	24,816,513	24,670,437
負債純資産合計	33,006,246	32,832,291

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	4,428,636	5,086,122
売上原価	2,660,102	3,031,075
売上総利益	1,768,534	2,055,046
販売費及び一般管理費	1,403,688	1,450,396
営業利益	364,846	604,650
営業外収益		
受取利息	1,036	3,397
受取配当金	18,341	24,815
受取賃貸料	7,442	7,608
為替差益	13,046	41,286
その他	12,745	20,804
営業外収益合計	52,612	97,913
営業外費用		
支払利息	11,183	8,903
その他	8,896	5,443
営業外費用合計	20,080	14,346
経常利益	397,378	688,216
税金等調整前四半期純利益	397,378	688,216
法人税等	208,090	259,952
四半期純利益	189,287	428,263
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,054	1,493
親会社株主に帰属する四半期純利益	188,233	426,770



（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日）
四半期純利益	189,287	428,263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100,479	△94,653
為替換算調整勘定	△158,962	△247,425
退職給付に係る調整額	7,485	4,832
その他の包括利益合計	△50,997	△337,246
四半期包括利益	138,289	91,017
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	137,771	91,508
非支配株主に係る四半期包括利益	518	△491

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ポンプ事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,823,955	491,533	4,315,489	113,147	4,428,636
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,823,955	491,533	4,315,489	113,147	4,428,636
セグメント利益	327,731	28,239	355,970	8,875	364,846

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器、健康食品及び人材派遣事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	355,970
「その他」の区分の利益	8,875
四半期連結損益計算書の営業利益	364,846

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ポンプ事業」セグメントにおいて、平成29年4月12日付でHydrodyne(India)Pvt.Ltd. 社株式の51%を取得したことから、のれんの金額に重要な変動が生じております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては886百万円であります。

## II 当第1四半期連結累計期間（自平成30年4月1日 至平成30年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ポンプ事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	<u>4,429,160</u>	484,407	<u>4,913,568</u>	172,554	<u>5,086,122</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	<u>4,429,160</u>	484,407	<u>4,913,568</u>	172,554	<u>5,086,122</u>
セグメント利益	<u>561,493</u>	25,589	<u>587,082</u>	17,567	<u>604,650</u>

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	<u>587,082</u>
「その他」の区分の利益	17,567
四半期連結損益計算書の営業利益	<u>604,650</u>

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## 3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)	前年同期比 (%)
ポンプ事業 (千円)	4,528,339	4.2
電子部品事業 (千円)	484,401	△1.5
報告セグメント計 (千円)	5,012,740	3.7
その他 (千円)	91,187	△15.2
合計 (千円)	5,103,928	3.3

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 受注状況

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
ポンプ事業	6,785,797	32.7	<u>9,343,954</u>	<u>26.3</u>
電子部品事業	476,741	△4.6	162,989	△2.2
報告セグメント計	7,262,538	29.4	<u>9,506,943</u>	<u>25.6</u>
その他	118,516	△13.7	61,038	△34.7
合計	7,381,055	28.4	<u>9,567,982</u>	<u>24.9</u>

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)	前年同期比 (%)
ポンプ事業 (千円)	<u>4,429,160</u>	15.8
電子部品事業 (千円)	484,407	△1.4
報告セグメント計 (千円)	<u>4,913,568</u>	13.9
その他 (千円)	172,554	52.5
合計 (千円)	<u>5,086,122</u>	<u>14.8</u>

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。